

会員社のCSR活動（50音順）

分野 会員名	①高齢者見守り・地域貢献活動等	②福祉支援（障がい者支援・ピンクリボン運動等）	③自然環境保全活動等	④子育て・教育支援等	⑤被災地支援	⑥文化・スポーツ支援等
(株)アサンテ					都内で発生した水害により、多くの家屋が床上、床下浸水の被害に見舞われた際に、河川の氾濫によって水没した街路、建物、公園などの消毒施工を行ないました。以降、災害においても地域社会に貢献しています。	日本が誇る歴史的木造建造物の中にはシロアリの被害を受けているものがあります。「日本文化の素晴らしさを多くの人々に伝えていくために、私たちの技術を役立てたい」と、神社仏閣の保護・保全に努めています。
エイボン・プロダクツ (株)		2002年より乳がんの早期発見・早期治療を啓発するピンクリボン活動を実施。 2016年はJ.POSH「奨学金まなび」への寄付。全国5都市5団体への寄付、寄付製品の販売に取り組んでいます。				
(株)サニックス				海外チームとの国際交流を通してグローバルな視野を持つ青少年を育成することを目的に、2000年より順次、ユース世代の各種スポーツ（ラグビー、サッカー、ハンドボール、柔道、新体操）の国際大会を開催しています。		2001年よりブルガリアの文化やスポーツを紹介するブルガリアフェスティバルを開催しています。毎年、民族舞踊団や新体操クラブも来日。市民参加型のイベントも行い、日本とブルガリアの文化交流を図っています。
(株)サミットインターナショナル		多くの視覚障がいの方が待ち望む盲導犬育成への寄付や交通事故遺児たちへの経済的支援を続けています。ピンクリボン運動では、オリジナルピンクリボンピンズを作成し売上の一部を「ほほえみ募金」に寄付しています。		平成21年、札幌市南区に「YURIKO サッカースタジアム」という少年少女専用のスタジアムを作りました。少年少女の健全な育成のために役立てて欲しいとの熱い思いから、使用料を無料にしています。		

(株)サンコー	各自治体が主催する救命講習を積極的に受講しています。また、お客様に正しいサプリメントの使用目的や活用法を提供するためにサプリメントマスターの資格取得に力を入れています。	人と人との絆、ふれあい、つながりをテーマに箕面市社会福祉法人あかつき福祉会、ささゆり園ほかを対象に募金・寄付活動に取り組んでおり、2015年には大阪府知事より表彰を受けました。			当社社員および当社店舗のお客様に東日本大震災や最近の熊本県災害について義援金募集を呼びかけ、集まったものは当社付近の県事務所または現地の官公庁まで社員が足を運びお届けしています。	
サンテクレアール(株)				2006年に合計10校を目標に「カンボジアに学校を作ろう！プロジェクト」をスタート。2008年には記念すべき第一校目となる「ダムナクトラッチュ中学校」を寄贈し、2017年には5校目の寄贈も無事に終了しました。		
蛇の目ミシン工業(株)	八王子にある本社において教育機関や地域の皆様に向けた会社見学会を実施しています。また、周辺住民の皆様を対象にした親子で取り組むソーイング教室を2010年より開催し、人気のイベントとなっています。	ピンクリボンモデル商品の売上金の一部を(公財)日本対がん協会「ほほえみ基金」に寄付しています。	地球環境保全に貢献すべく、グループ環境方針を定め、「ISO14001」を軸にした環境マネジメント体制のもと、環境配慮活動を行っています。			
(株)ジャパンヘルスサミット						エール蔵王「島川記念館」は、蔵王連峰を一望の下に見渡すことのできる自然豊かな環境の中にあります。地元の皆様に見ていただくことコレクションしてきた美術品の数々を展示しています。
新生ホームサービス(株)	2008年から継続して、本社がある神戸周辺の清掃活動に取り組み、地域の環境保全に努めています。また、環境保全に関する社内研修の実施や、社外研修への積極的な参加を行っています。	すべての人がイキイキと生活できる明るく豊かな地域社会を目指し、障害児入所施設「おおぞらのいえ」に訪問し、当社が公式スポンサーを務めるヴィッセル神戸と合同の交流会を継続しています。			東日本大震災をはじめとする被災地を継続して支援しています。緊急支援物資の送付や現地でのボランティア活動、コンサートの開催などの様々な復興支援活動を行っています。また、神戸ルミナリエにも協賛しています。	

(株)創拓社出版				児童福祉法に基づく「こども自立支援スクールぼらりす」を4カ所に開設。発達障がいのある小中学生らに放課後や休日の居場所を提供する「放課後等デイサービス」と、未就学児向け「児童発達支援」を実施しています。		
(株)ダスキン	「クリーンアップマイタウン」活動では、皆さんが暮らし、そしてダスキンがお世話になっている身近な街を一緒にキレイにできればという想いのもと、全国各地でゴミ拾い活動を行っています。	「(公財)ダスキン愛の輪基金」を1981年に設立し、障がいのある内外の若者に障がい者福祉を学ぶ機会を提供しようと、海外派遣と日本への招聘の2つの事業を通して、障がいのある方の自立と社会参加を支援しています。	「白山国立公園」の固有の生態系保護のため、登山口や登山道など8カ所に計50枚のダスキンマットを提供し、登山者の靴底に付着した外来植物の種子を捕集することで、公園内への持ち込みを抑制しています。	事業の中核である「掃除」を通じて社会にお役立ちできる会社でありたい。そんな願いを込めて、ダスキンお掃除教育研究所が中心となり、2000年から学校教育現場での様々な清掃活動を無償でサポートしています。	2016年に発生した「熊本地震」では、飲料水や手指消毒剤などの支援物資を送りました。また、当社グループ内外に対しては義援募金を呼び掛け、ミスタードーナツでは避難所にドーナツを届ける活動などを実施しました。	全国の子どもに「生命の大切さ」「人を思いやる心」などを語りかけ、心豊かな社会の実現を目指す『こころの劇場』（主催：劇団四季、(一財)舞台芸術センター）に2014年度から協賛しています。
(株)TIENS JAPAN			「養生文化」の理念に基づいた持続可能な社会の実現に向けて、2008年から長野県「ecoca?の森 信州生坂」を、2013年からは兵庫県「ecoca?の森 宝塚」を開設し、2つの拠点で森林整備の支援活動を行っています。			
日本アムウェイ(同)			1989年、自然保護活動の拠点として「アムウェイ・ネーチャーセンター」を設立。全国に広がるアムウェイのディストリビューターのネットワークを活かし、子供達と共に海岸、河川、湖沼の清掃活動を行っています。	日本の次世代リーダーがアメリカの政治・経済・社会を学ぶ国際教育プログラムを支援しています。独自の官民連携のプログラムは、名門大学での講義と、持続可能な開発モデル都市の視察で構成されています。	人々が集う場を失った被災地に、地域の絆を取り戻すための場所「アムウェイハウス」を建設し、コミュニティの再生活動を続けています。被災地を忘れないこと、希望を届けること、この2つの理念で活動しています。	

日本eリモデル(株)	定期的に地域の清掃活動をしています。2012年4月当社は環境保全チームを発足しました。5名の社員が中心となり、地域の清掃活動に継続して取り組み、地域の美化に努めてまいります。		神戸とアフリカのケニア共和国で、リーモ・デールの森づくりを進め、環境保全活動を行っています。	2013年よりACEF（アフリカ児童教育基金）を支援。地域の学校教育支援やHIV孤児の健康向上を目的に、ケニア共和国エンブ県マキマ地区にあるHIV孤児院「JUMP&SMILE」の敷地内に、免疫力を高める植物「モリンガ」を500本植樹しました。		
日本メナード化粧品(株)			稲沢工場では地球環境に与える影響を考慮して環境マネジメントシステム国際規格「ISO14001」を導入。商品の生産に関わる全ての業務において、環境への配慮に努めています。			豊かな自然と落ち着いた雰囲気の中で、じっくりと美術作品を鑑賞できる「メナード美術館」。1987年10月、創業者を中心に収集した美術作品を広くご覧いただくために、愛知県小牧市に開館しました。
ニュー スキン ジャパン(株)	2006年～日本初のフードバンク、セカンドハーベスト・ジャパンと提携し児童養護施設や子どもたちに食品を届ける活動を継続。2016年大型調理施設「セントラル・キッチン」設立を支援し温かい食事も提供。	アフリカのマラウイ共和国への農業教育を通じ、経済的自立を支援。子どもたちに栄養のある食事と教育の機会を提供しています。	霧多布湿原ナショナルトラストの湿原保全活動を2000年から継続支援。美しい自然を未来の子どもたちに残すため、湿原保護のための土地の買い取り活動や小型トラック寄贈などを支援。	子どもたちの主体性やリーダーシップを高めるプログラム「リーダー・イン・ミー」の公立小学校導入を支援（茨城県境町の全小学校に導入中）フランクリン・コヴィー社によって提供される「7つの習慣」に基づく。	緊急被災地支援として、義援金寄付、製品や水など必要とされる物資を寄付しています。被災地域の子どもたちへ、毎年継続して会員とともに現地を訪れ小学校へ図書・書架や文房具支援を行っています。	女子プロゴルファー永井花奈選手とスポンサー契約締結、製品提供。バーディを取る度に社会貢献活動（FFG基金）へ寄付。また1998年～「サイクルマラソン鳥羽志摩線大会」（三重県志摩市）製品協賛。
(株)ニューポート			2003年に環境マネジメントシステムISO14001認証を取得し、現在も維持しています。スタッフ全員参加による取り組みが特色で、カーボンオフセットとグリーン電力購入により事業で排出したCO ² を100%オフセットしています。			

(株)ノビア			地球温暖化防止や廃棄物管理等の環境保全活動を推進し、商品開発では「ECOパッケージガイドライン」を定めています。また、「ノビアグリーン基金」ではアルビニスト野口健さんと未来の自然環境を考えています。	子供たちの健全育成や地域活性化を目的に「海の子留学」制度を実施しています。また、ノビアグリーン財団では「六甲山の森づくり」に取り組むと共に、子供たちを対象に年1回の環境教室を開催しています。		ノビア銀座ギャラリーは、「時代を超えて価値のあるものを」をテーマに、ジャンルにとられないアート作品を東京本社ビル1階にて展示しています。
扶洋薬品(株)					東日本大震災で被災された女性や子どもたちが、いきいきと生活し自らの力を十全に活かして活躍できるよう、一人ひとりを応援し、コミュニティの環境を整備するNPO法人等による活動を支援しています。	
豊凜化粧品(株)		2005年1月に「豊凜基金」を立ち上げ、今年で12年目になりました。日本全国で難病や環境等に悩まれる方々のために、売上金の一部を病院や施設など地域社会に還元しています。				
(株)ポーラ	2009年から、日本が誇る「ものづくり」の真髄を社会に向けて提案する「3・9プロジェクト」を実施。伝統技術を活かしたお客様プレゼント製作を通して、縮小傾向にある地域産業の活性化に貢献しています。	美容のチカラで、がん患者さんを支援したい。キヤンサーネットジャパンのティール&ホワイトリボンと協力体制を組み「プラチナメイク&フォトプログラム」を実施しています。			2012年から東日本大震災によって応急仮設住宅への美容ボランティアを実施し、被災者から「気持ちが明るくなった」等の声が寄せられ、今では熊本でも、現地スタッフが活動しています。	印象派絵画や化粧道具を数多く収蔵するポーラ美術館の運営支援、化粧文化の研究や情報を発信するポーラ文化研究所、現代アートを中心に企画展を無料で展開するポーラミュージアム アネックスを運営しています。
マナテックジャパン(同)		世界の中で年間500万人の子供たちが飢餓に苦しみ、命を落としています。1人の定期製品購入者から、1人の子供の1ヵ月分の栄養をお届けするしくみを作り、				

		「M5M（ミッション5ミリオン）」と名付け活動しています。				
(株)丸八真綿販売			開発・製造・販売・アフターサービスにわたり自社一貫性システムにより最終処分まできちんと責任を持つとの考えから、お客様のご不要になった寝具を固形燃料化し、メロン温室の燃料として再利用しています。	袋井リサイクルセンターに入荷した不要ふとんの枚数に応じて、中央共同募金会に寄付をする活動を行っており、寄付金は児童福祉関連施設の活動助成金として役立てられています。		
三基商事(株)		テレホンカードなどの回収箱を各支店・事務所などに設置し、認定 NPO 法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」の活動を支援しています。		「ミキブルーン文庫」を通して、夢と知識を贈り、未来を担う子ども達が心身ともに健やかに育つようこと、全国の販売員が本を届けています。2016年に第4回を迎え、これまで国内外へ寄贈した本は合計8,000冊を超えました。		
(株)みらい住宅開発紀行			地球温暖化防止へ、社員一人一人ができることに取り組んでいます。環境保全を第一に考え、全社員が、社内研修、社外研修を積極的に取り組むことで温暖化防止に貢献しています。	子どもへの虐待をなくすオレンジリボン運動に取り組んでいます。地域の方々にこの運動を知っていただくため、公式 T シャツの着用や啓発チラシの配布、車両への同マークを貼るなどの普及活動を行っています。		